

学術
講演会

Annotation of speech corpora: sharing experiences

大阪府立大学大学院人間社会システム科学研究科主催

2018年

参加無料，来聴歓迎，事前申込不要，途中参加・退出可

5月26日 土 14:00-18:00

大阪府立大学サテライト I-siteなんば 2階C1室 地図は裏面参照

第一部

14:00～15:00

フランスにおける日本語学—その現状と展望

ローランス・ラブリューヌ

(ボルドー・モンテーニュ大学)

講演は日本語



第二部

15:15～16:15

*Annotation and analysis of Japanese
spontaneous speech*

丸山岳彦 (専修大学・国立国語研究所)

講演は英語・通訳なし



第三部

16:30～18:00

Annoter les corpus oraux

Gabriel Bergounioux (オルレアン大学)

講演はフランス語・通訳なし



司会：高垣由美 (大阪府立大学)

Bergounioux教授の来日は、日本学術振興会平成30年度外国人招へいプログラム（短期）によるものです

お問い合わせ

大阪府立大学大学院人間システム科学研究科

高垣由美 takagaki@lc.osakafu-u.ac.jp

会場の案内

大阪府立大学サテライトI-siteなんば 大阪市浪速区敷津東2丁目1番41号 南海なんば第1ビル2階



- ・地下鉄御堂筋線・四つ橋線大国町駅下車、1番出口から東へ約450m、徒歩約7分
- ・地下鉄堺筋線恵美須町駅下車、1-B出口から西へ約450m、徒歩約7分
- ・南海電鉄高野線今宮戎駅下車、北へ420m、徒歩約6分
- ・南海電鉄なんば駅下車、中央出口から南へ約800m、徒歩約12分
- ・地下鉄御堂筋線なんば駅下車、5号出口から南へ約1,000m、徒歩約15分

お知らせ

ガブリエル・ベルグニュ教授は、日本学術振興会平成30年度外国人招へいプログラム(短期)による日本滞在中、以下の発表もなさいます。詳細は各学会のホームページをご覧ください。

1) 2018年6月1日(金) 慶應義塾大学三田キャンパス 東棟8階ホール
日本フランス語教育学会春季大会

15:15~16:15 講演 « L'art de la conversation : marques de structuration du discours, représentation sociale et interlocution »

16:30~17:15 ワークショップ « Écriture inclusive : le français se donne à voir »

2) 2018年6月2日(土) 10:00~12:00 獨協大学 西棟2階W-205教室
日本フランス語学会 シンポジウム – Journée d'étude « Variation(s) »

« Le français oral en variation : les enseignements de l'Enquête Sociolinguistique à Orléans »

3) 2018年6月2日(土) 15:00~16:15 獨協大学 西棟1階W-102教室

日本フランス語フランス文学会春季大会 特別講演 « Saussure et la littérature »

音声コーパスのアノテーション 経験の共有

講演要旨

『フランスにおける日本語学—その現状と展望』

Laurence Labrune (ボルドー・モンテーニュ大学)

(講演は日本語)

本発表は、フランスにおける日本語学の研究動向をレビューし、現代フランスの日本語学の学界のありかたを検討するものである。フランスにおける日本語学はどんな研究者コミュニティによって、どういう施設にて（大学・研究機関など）、そしてどのような研究テーマ・研究対象および、どんな理論枠組みに基づいて行われているかを紹介しようとするものである。

Annotation and analysis of Japanese spontaneous speech

『日本語の自発音声に対するアノテーションと分析』

丸山岳彦 (専修大学・国立国語研究所)

(講演は英語)

音声コーパスの構築と利用においては、録音された音声に対して、発話の書き起こし（転記）、時間情報の付与、言語的単位の付与など、多くのアノテーション（研究用情報の付与）が必要になる。特に自発音声を対象とする場合、そこにはさまざまな非流暢性が出現するため、その対処が問題となる。本講演では、音声コーパスのアノテーションにはどのような種類があるか、どのような点が問題になり、どのような解決策が提案されているか、どのような分析が可能か、といった点について、最新の日本語コーパスの研究事例を交えながら概説する。

Annoter les corpus oraux

Gabriel Bergounioux (オルレアン大学)

(講演はフランス語)

Les annotations peuvent être définies comme « des séquences de caractères insérées dans un texte afin de pointer un phénomène particulier ». On en distingue trois types – intégrées, parallèles ou multilinéaires – qui opèrent aux différents niveaux de l'analyse linguistique. Dans le cas des corpus oraux, elles impliquent une standardisation des représentations, des lemmatisations et des catégorisations. La chaîne de traitement des données à mettre en place opère une distinction entre (i) les transcriptions, (ii) les métadonnées et (iii) les annotations qui posent des questions en matière de méthode et pour la définition de solutions d'exploitation et d'archivage.